

狛江市業務委託第三者評価報告書 ー概要版ー

■評価施設

施設名称	狛江市子ども家庭支援センター
業務委託者	社会福祉法人 雲柱社
所管課	子ども家庭部 子ども発達支援課

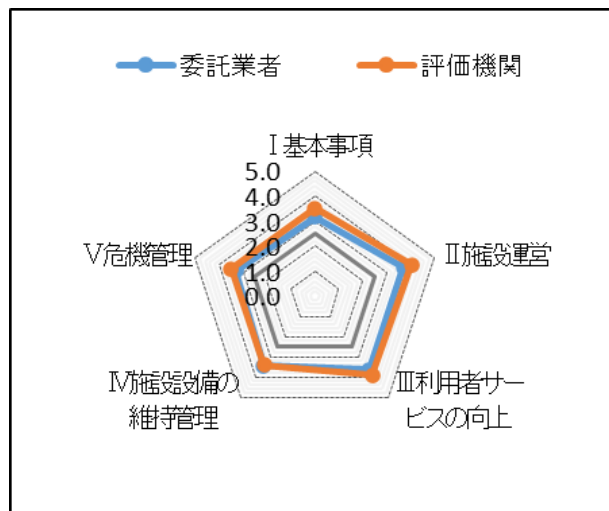
■評価機関

経営創研株式会社

■評価方法

業務委託者の自己評価、各種提出資料、現場確認、ヒアリングによる評価。

評価シートは、基本事項・施設運営業務・利用者サービスの向上・施設設備の維持管理・危機管理の5つの大項目から構成され、各20設問、合計100の観点から評価しています。



■評価できる点

狛江市子ども家庭支援センターは、狛江駅徒歩3分の利便性の高い立地にある複合施設「ひだまりセンター」1階にあります。育児支援として様々な相談を受け、多様な育児支援事業を提供しながら市内唯一の子ども家庭支援センターとしての機能と役割を果たしています。

2階の児童発達支援センター、3階の教育センターとの複合施設基本方針「きづく・よりそう・ささえる・つなぐ」の4つの視点から、妊娠期から18歳までの子どもと家庭を切れ目なく支援していける複合施設のメリットを活かして日々円滑な相互連携を図っています。連携したプログラムとして「児童発達支援センター職員と話そう」では、利用者がより相談しやすい環境を作り、併せて相談内容の振り返り検討会や情報共有を通じて、職員間での子どもの発達理解や面談スキル向上にも繋がっています。市内の子育てひろば、児童館の5か所と「狛江市子育てひろば連絡会」会議の定期開催や、連携したハロウィンスタンプラリーの取り組みは2年目となり、地域子育て支援拠点の中核施設としての役割も果たしています。

乳幼児親子が利用できる子育てひろば（以下「ひろば」という）では、子どもの月齢や年齢に合わせてコーナーを設定し空調や衛生的な環境に留意して、親子が安心して過ごしながらかみ相談の他に、情報提供、遊びの提案を行っています。令和6年7月から開始した新規事業の一時預かり事業は、ひろば内で担当職員が1対1で対応することで、安心して子どもを預ける第一歩の預け先として希望者が多く好評となっています。

利用者アンケートの中における職員対応の項目では、職員の利用者に寄り添った日常の声かけと気軽に相談しやすい暖かな雰囲気が高く評価されています。外国人の方も含め誰でも安心して利用できるように利用者の立場に立ち、利用者に沿った対応を共有するための記録や細やかな工夫を高く評価します。

衛生管理や備品や遊具の安全確認等の点検整備のために、衛生推進者を配置してチェックする仕組みがあります。子どもが遊具や玩具を選びやすいように子ども目線や動線に合わせると共に、室内全体を見渡せるよう遊具の高さやコーナーの配置に配慮がされています。そのため大きな事故はありませんが、ヒヤリハット事例の記録があります。事例があった場合はミーティングで職員間の共有を図り、防止策や対策を検討して再発防止に活かす高い危機管理の意識を持っています。

■課題

・ホームページやたんぽぽ通信を見た利用者が市内だけにとどまらず、市外からの利用者も増加傾向にあり今後も増加が見込まれます。ひろば利用の時間調整やプログラムの対象者を限定する等の対応方法の検討が必要となる可能性を想定しておくといでしょう。

・初めての利用者は、玄関を入った左側の受付カウンターが受付だと思い声をかけがちですが、実際の子ども家庭支援センターたんぽぽの受付は、カギ付き正面扉の内側にあるためわかりづらいようです。受付場所が明確になる案内表示の工夫を提案します。

・ひろば内には、一時預かりやショートステイ等のセンターが提供しているサービス事業の一覧の掲示がありますが、その中にファミサポ事業を追記して周知してはどうでしょう。

・プレママ・パパ、学童期以上の家庭への広報方法等を見直し、少しずつでも利用拡大につながることを期待します。